

9/19

# 論説

## コロナと高齢相

厚生労働省によると2021年の日本人の平均寿命は男女とも10年ぶりに前年を下回った。新型コロナウイルス流行の影響となりました。

「敬老の日」を迎える。「敬老の日」を守る改めて高齢者の命を守る体制の構築を求めたい。

一方、政府はここに来て新型コロナに感染し発症した人の療養期間を短縮したり、金数把握してきた感染者の発生届の対象を全国一律に高齢者に限定したりなど、コロナ対策の緩和に乗り出している。療養期間についでは、原

則10日間から7日間に短縮された。ただ、有症状のケースでは他の人にうつすり

スケが10日間療養し11日目に解除となった場合が3・6%だが、8日目の解除で

は16・0%以上あります」とが国立感染症研究所の分析によると、福井県内も同様の

再び招かないよう万全の備えを怠ってはならない。

今年の年初からこれまで

にコロナによる亡くなった人は高齢者が中心に2万人超えて上昇している。2年半余の累計比で60%近くに達し、福井県内も同様の

リスクが既に反映されていない」などと否定的な意見もあったところ、責任

転嫁せず、リスクがある」とを丁寧に説明し、その後の危機に備えるべきだ。

年半余の累計比で60%近く、全数把握の簡略化は医療機に運び、福井県内も同様の

対策の上限を撤廃したり、国内旅行の制限を始めたりする方針だ。これらも感染拡大のリスクがあり、慎重な運用が求められる。

## 高齢者らの命守る体制を

で明らかになつてこる。

岸田文雄首相は第7波が一段落したとして「ウイズ

高齢者らの命を守れなかつた事実、遺族の悲しみを忘れてはならない。

傾向にある。首相は大勢の人が若じ難症者の健康観察ができるしなむとの懸念から当初導入した県は少なかつた。後に国立感染症研究所は「コロナの新たな段階への移行を進み、社会経済活動と

の両立を強化していく」として政治判断ではなく専門家の意見を踏まえた判断だ

が、若じ難症者の健康観察のペースへ加速する意向を示している。3、4回直接の途中でのワクチン切り替えや自治体などの現場の混亂を招かないよう政府は約4割は基礎疾患を持つ高齢者ら

に接種率アップが不可欠だ。